香美町

社協だより

第100号

平成25年７月25日発行

編集・発行 社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
〒669-6545 香美町香住区森31－1 香美町香住地域福祉センター内
TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
ホームページアドレス http://www.kami-shakyo.org/

とどけます みんなの元気

楽しい水泳教室（香住区）

６月から香住Ｂ＆Ｇ海洋センタープールで楽しい水泳教室が開かれています。

対象は小学校３年生から６年生までの児童で、毎週土曜日に香住スイミングクラブの会員が指導に当たっています。教室では、泳げる子どもも泳ぎの苦手な子どもも一緒になって水に親しみ、楽しく練習を重ねています。

この日は水泳記録会。子ども達は練習の成果を存分に発揮し、元気いっぱい泳いでいました。参加者の守山由希也くんは、「去年より上手くなった。バタフライや背泳ぎができるようになってうれしい」とニコニコ顔で話してくれました。

今月の主な内容

平成25年度集落福祉活動研修会……2
みんなの幸せを目指した集落福祉活動 …3
賛助会費のお願い ……3
福祉・防災マップ活用研修及び避難所運営研修会開催 …4
東日本大震災復興支援ボランティアバス …5
ボランティアセンターだより ……7
けいじばん ……8

この広報誌は共同募金配分金の一部を活用し作成しています。

平成25年度 集落福祉活動研修会

※この事業には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています

200名の地域リーダーが参加

平成25年6月1日、村岡老人福祉センターにて香美町集落福祉活動研修会を開催し、区長（自治会長）、民生委員・児童委員、福祉委員長、民生児童協力委員が集落の福祉活動を進めるうえでの大切なことを共通認識しました。

先進地事例の発表では、滋賀県高島市社会福祉協議会地域福祉課長の井岡仁志氏を講師に、高島市の取り組みを学びました。

高島市は、湖畔部と山間部にわかれており、冬期積雪や少子高齢化問題など、香美町と相通じるところがあります。集落福祉活動の基盤となるのは福祉委員会であり活動をわかりやすく段階的に進めていくために「いろは」で内容を表現しています。

「い」は、いきいきサロンです。身近な居場所つくりを進めます。

「ろ」は、見守りです。いきいきサロンに来られなかった方などへの訪問活動を組み合わせます。

「は」は、生活支援です。日常生活のちょっとした困りごとを手助けします。

これらは福祉の三役（区長、民生委員、福祉委員長）の合意のもとで進め、「見守り会議」を開催しています。

井岡氏は「5年後、10年後にどんなまちでありたいかをイメージして地域の福祉活動をすすめていくことが大事です」と話を締めくくりました。

香美町の取り組み

香美町においても、各集落で「いきいきサロン」「見守り活動」「ご近所ボランティア活動（生活支援）」（集落福祉活動の「いろは」）に取り組んでおり、福祉委員会の合意が基盤になっています。

香美町にあてはめると…

福祉委員会活動のい・ろ・は

- **は** ご近所ボランティア（生活支援）
  日常生活の困りごとを手助け
- **ろ** 見守り活動
  サロン欠席者、一人暮らし高齢者など
- **い** いきいきサロン
  身近な居場所づくり

福祉委員会の構成メンバーは、集落の規模や実情により様々です。集落の役員と同じというところもあります。大切なのは、区長（自治会長）、区役員、民生委員・児童委員が立会人として、福祉委員会に関わることです。

今後も各集落で福祉委員会を開催していただきながら、福祉・防災マップ要援護者登録を進めつつ、これをもとに「い」「ろ」「は」を進めていく体制を作っていきます。

サロン活動から見守り活動、そしてご近所ボランティア活動を行う中で、専門機関の支援が必要な場合は、社会福祉協議会にご連絡ください。集落と社会福祉協議会が連携することにより、支援を必要とされる方に、スムーズにサービスをつないでいきます。これらの活動を繰り返し行っていくことで、「住み慣れた集落で安心して暮らし続けたい」という願いが実現します。

地域の皆様と一緒になって、集落福祉活動を進めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

みんなのしあわせを目指した集落福祉活動 Vol.1

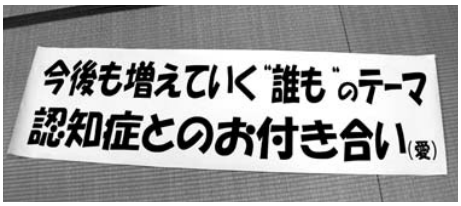
～集落で取り組む認知症とのお付き合い(愛)～

香住区　いきいきふれあいサロン大谷

「住み慣れた集落で安心して暮らし続けたい」誰もが抱くこの願いを実現させるために、香美町内の各集落では様々な方法で集落福祉活動に取り組んでおられます。
シリーズ「みんなのしあわせを目指した集落福祉活動」では、集落で工夫されている福祉活動の取り組みや、色々な福祉サービスの情報を紹介していきます。

6月8日（土）、大谷区会館で、「いきいきふれあいサロン大谷」が開催されました。今回のサロンでは、講師にグループホーム「むらおかの空」施設長の小谷勝義さんをお招きし、「今後も増えていく誰ものテーマ　認知症とのお付き合い(愛)」というテーマで講演会を行いました。

講演では認知症についての正しい知識や認知症の方に対する接し方を丁寧に説明していただき、参加者の方から「とてもためになった」といった声が聞かれました。大谷地区では４名の福祉委員さんがサロンの中心スタッフとなって活動されています。福祉委員長さんは、「認知症に対する理解者を増やすことで、認知症は誰にでも起こりうる問題であり、特別なことではないという認識を定着させたい」と話されていました。



また福祉委員さんは、「認知症について、集落全体で考える場を持てたことは、とても大きいことです。今後継続して実施していくことで、より理解が深まると思います」と継続していくことの重要性を感じておられました。

認知症の方の増加が地域で問題になっている昨今、集落ぐるみで認知症に対する正しい理解を深め、支え合っていきたい、という福祉委員さんの想いが表れたサロンでした。

今回、香住区大谷地区が取り組んだ認知症の問題に限らず、現在ある地域の福祉課題、また今後起こりうる地域の福祉課題について、福祉委員会が中心となって取り組んでいくことは大切なことです。今回の大谷地区の活動は、集落が目指すべきひとつの形ではないでしょうか。

平成25年度 香美町社会福祉協議会 賛助会員の募集

一口 1,000円～（何口でも）

昨年度は、600件の事業所・個人の皆様から1,379,000円ものご協力をいただき、香美町の福祉事業費やボランティア活動事業費として活用させていただきました。心より厚くお礼申し上げます。

本年度も賛助会員として本会の目的に賛同し、ご協力いただける個人、法人、事業所及び団体を募集します（8月に郵便振込用紙付きチラシをお届けします）。

賛助会費は、福祉事業への寄付金として控除の対象になります。本所、村岡・小代の各支所窓口で、証明書付き領収書を発行します（郵便振込みの方は社協窓口にお申し出いただきましたら証明書を発行いたします）。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「支え合い安心して暮らせるまちづくり」は福祉・防災マップから

福祉・防災マップ活用研修及び避難所運営研修会開催

社会福祉協議会では、平成19年より住民のみなさんと一緒になって福祉・防災マップを作成しています。防災と福祉は集落内で一体的に取り組まれるものであり、福祉活動の充実が、防災・減災につながっていくからです。

福祉と防災の共通項目は、「支え合い」と「安心」、キーワードは「普段のつながり」です。福祉・防災マップを活用した「つながり」を深めるため、村岡区内3会場で研修会を開催しました。

研修は、区長、福祉委員長（福祉委員）、民生委員・児童委員（協力委員）、集落の役員や防災に関わる方々を対象に行いました。

香美町消防団による防災講話

香美町消防団村岡支団幹部の方々は、「避難は住民ひとり一人の役割です。避難を支援する役割が、消防団員であり、集落の役員やここに集まっている方々です。災害時にあわてず、冷静に対応するためには、日頃の訓練や心構え、そして住民同士のつながりから生まれる集落の団結力が必要です」とお話をしてくださいました。

災害時地域支援者の選任

この話を受けて、災害時に支援を必要とされる方々の支援者（地域支援者）の選任について参集の方々で話合いを行いました。

地域支援者の役割は、①要援護者への情報伝達　②安否確認　③避難誘導です。地域支援者が、災害時に居合わせなかったり、支援者自身が被災することも考えられるため、要援護者1名に対して支援者は複数とすることが原則です。

地域支援者の選任方法については、任意にすると決まらないので、近所の人を支援者に選定する市町が多いようです。もし、災害が発生した場合は、どうしても近所の人が支援しなければいけないことが現実にあるからです。

香美町においてもこの方法を提案させていただきました。

障害のある方々に対する避難と避難所運営

障害のある方が安心して避難できるように、香美町障害者地域自立支援協議会実務者会議が作成した「障害者のための防災・支援マニュアル」をもとに、避難所運営を含め説明を行いました。災害時に遠慮をしない環境は、お互いの理解と普段からのつながりが重要なことを共通認識しました。

香美町社会福祉協議会は、今後においても福祉・防災マップを更新していき、平常時の見守り活動やご近所ボランティアに活用しながら集落内のつながりを作り、災害時には即応できるよう皆様と一緒になって、安心して暮らせるまちをつくっていきます。

香美町社会福祉協議会被災地支援の取り組み

東日本大震災被災地復興支援ボランティアバス

平成25年5月17日～20日、香美町内の28才から69才までのボランティア11名の参加を得て、宮城県気仙沼市大島へ復興支援活動を目的にボランティアバスを運行しました。

バスによる片道16時間の長時間移動となりましたが、事故やケガもなく活動をしてきました。現地では、天候にも恵まれ暑いぐらいの中、海岸清掃作業を地元住民の方々と一緒に行いました。

この地震・大津波を伝え残そうと語り部をされている小山由紀子さんから、震災当時のご自身の日記を読みながら体験談を聞かせていただいたり、地元の方々と作業をしながらお話しする中で、『あれから2年の時間は経過して震災瓦礫は片付いたように見えるけど、まだ何も復興していない』また、災害への備えで一番大切なのは『日頃からの意識付けです』と言われたのが印象的でした。

香美町では、福祉防災マップの登録・更新を行っていますが、災害時だけでなく、日頃からの見守り活動などへの活用が大切だと改めて感じました。

初めてボランティア活動に参加された方々からは、『実際に現地へ行き地元の方の話が聞けて良かった』『また機会があれば参加したい』『もっと活動したかった』などの感想を聞かせていただきました。

今回の取り組み・活動をきっかけにし、活動を継続する事が必要です。被災地支援は、直接的な支援はもちろんですが、距離的な問題もあります。香美町内で『何ができるのか？』を参加された方と一緒に考えて、新たな繋がりを作りながら活動していく事が、被災地支援にもなり、ひいては香美町の福祉力の向上にもつながります。今後、町内でできる支援活動を検討しています。活動の際には皆様のご協力をお願いします。

香美町 ボランティアセンターだより

村岡福祉まつり

天候にも恵まれた、6月16日（日）、村岡老人福祉センターで、村岡福祉まつり（南垣久美子実行委員長）が開催され、町民約３００人が訪れました。

村岡福祉まつりは、ボランティア間の連携を深め、福祉・ボランティアの輪を広げることを目的に行われており、一昨年より15のボランティア・福祉団体で実行委員会を結成して取り組んでいます。

当日は、地元村岡高等学校のボランティアサークルメンバーと、学校キャラクター『おーたん』『むーたん』がお客さんを出迎え、会場に華を添えました。

ボランティアさん手作りの炊き込みご飯やフリーマーケット、バザーも大盛況でした。

メインのふれあいステージでは、特別支援学校・学級の保護者やＯＢで作る「この指とまれ」によるハンドベル、トーンチャイムの心のこもった演奏、村岡高等学校生徒による迫力ある『南中ソーラン節』演舞で幕を開けました。

そして、『笑って健康！心も体もぽっかぽか』と題して、日本笑いヨガ協会の池川成子さんより、笑うことの大切さについて講演していただきました。

来場された方は、満面の笑みで会場を後にされ、皆さまの笑顔にスタッフは、元気と明日からの力をいただきました。実行委員会を中心に村岡高等学校や㈱今後建設など、たくさんの関係団体と住民の皆さまのご協力により盛況に終わることができました。ありがとうございました。

社会福祉協議会では、ボランティア活動を支援し、ボランティアの輪を広げていきます。

※この事業には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

小代 ほほえみの会 交流会

ボランティアステーションでは、ボランティアグループの活動支援、ボランティアへの関心を深めること、お互いの活動周知を目的に平成23年度より「ほほえみの会」交流会を開催しています。

この交流会は、一人暮らし高齢者の皆さんに集まってもらい、大勢で食事をしながら楽しい時間を過ごしてもらおうと、ボランティアステーションの委員を中心に、ボランティアや民生委員・児童委員が協力して行っているものです。

7月7日(日)の交流会には、高齢者58名が参加。美方警察署より、「高齢者の交通事故防止」の講演の後、栃の実グループやお茶の間グループの皆さんが踊りや銭太鼓などを披露しました。また、全員で歌をうたったり、炭坑節を踊ったりと、賑やかな時間を過ごした参加者の皆さんは「とっても楽しかった。久しぶりに話をしたり踊ったり、思い切って参加してよかった。元気でまた会いましょう」と約束を交わされていました。ボランティアの大石禎子さんは「皆さんの笑顔が見れてよかった」と、毛戸緑さんは「グループ間の交流も出来たし、一緒に活動することで、思いは同じなんだと実感しました」と話していました。

県民ボランタリー活動助成のエントリー受付中です！

受付締切　平成25年　8月30日(金)
※1グループ・団体あたり
3万円が上限の全団体一律金額

●申請条件（抜粋）
- 法人格を持たないボランティアグループ・団体であること
- 団体の構成人数が5人以上で、今年度中に12日以上のボランタリー活動を行う予定であること
- 助成対象経費が6万円以上あること　等

●対象となるグループや団体の活動（抜粋）
- 保健、医療または福祉の増進を図る活動
- まちづくりの推進を図る活動
- 環境保全や地域の安全を図る活動　等

お気軽に社協本所または最寄りの各支所へお問い合わせください♪♪

福祉まつり ~ハートフルフェスタ2013~

今年も香住区で、ボランティアや福祉団体、地域の皆さんが協力して賑やかに開催します。

と　き　平成25年9月28日(土)
10:00～13:00

会　場　香住区森　福祉村

内　容

♪ふれあいステージ
地域の伝統芸能や子どもたちによる歌や合奏、ミニコンサート、ビンゴゲーム大会　など

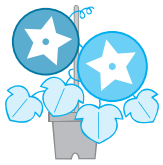
♪ふれあい広場
ハートフルバザー　遊び・体験コーナー
展示・活動紹介コーナー
バザー（食べ物・加工品・新鮮野菜など）

主催：ハートフルフェスタ2013実行委員会
後援：香美町社会福祉協議会
お問い合わせ先：香美町社会福祉協議会本所
0796－39－2050

社協のけいじばん

～総合相談所のごあんない～

各種相談は町内どこでも受けられます。本所、各支所にお気軽にご相談ください。
※秘密は厳守します。
※相談はいずれも無料です。

お問い合わせ先	本　所 TEL 0796-39-2050	村岡支所 TEL 0796-98-1000	小代支所 TEL 0796-97-2202
心配ごと相談	とき：８月28日(水) 13:30～16:00 ところ：香住老人福祉センター	とき：８月21日(水) 13:30～16:00 ところ：村岡老人福祉センター	とき：８月７日(水) 13:30～16:00 ところ：いこいの里
結婚相談 (ほっとHOT)	とき：８月22日(木) 13:30～16:00 ところ：香住老人福祉センター	とき：８月１日(木) 9:30～12:00 ところ：村岡老人福祉センター	とき：８月８日(木) 13:30～16:00 ところ：いこいの里
弁護士相談 ※要予約(１人30分)	とき：８月６日(火) 13:00～16:00 ところ：香住老人福祉センター 担当者：谷垣竹夫弁護士		

善意銀行だより

（平成25年６月１日～30日）（預託順・敬称略）

本所

・香典返し

森　中村　正治
上計　寺川　治郎
沖浦　松井　和人
森　佐藤　守
余部　山崎　武志
無南垣　吉田　正己
若松　北村　高司
余部　松森　陽

・善意の預託

訓谷　島田　絹代

・物品預託

匿名　（介護用品）

村岡支所

・香典返し

熊波　南部　雄二
宿　上田　和美
福岡　井上　和男
萩山　西村　義男
黒田　山根　哲男

預託金合計　635,965円

皆様からのあたたかいご預託は社協の地域福祉活動に使わせていただきます。
ありがとうございました。

○お名前は、預託者本人のご意向により掲載しています。

○収集ボランティア

古切手等の収集にご協力いただいた皆様をご紹介します。
６月分（預託順・敬称略）
古切手・ベルマーク・はがき・テレホンカード

〔本　所〕

香住　大和運輸㈱香住センター
沖浦　松森　貴美子
守柄　中村　悟
香住　橘法務行政書士事務所

〔村岡支所〕

村岡　谷口　佐恵子
高井　ヤマザキショップナカムラ
長板　中村建材㈱
新温泉町　㈱ヤマグチ

〔小代支所〕

城山　黒野　ますゑ
野間谷　ＳＨＴ兵庫㈱
大谷　古岡　のぶ子

その他にも、匿名で多くの方にご協力頂きました。
ありがとうございました。